

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市民農園に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	6	1	3	
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	農業振興課			
施策	331都市農業の育成	担当課室長	飯田純一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	利用料金の精査を定期的に行っていく。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	未利用区画をなくすための方策を検討する。
②①に基づく取組み結果	現在の利用料金は、近隣市と同水準であることが判明した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	野菜栽培を愛好する市民。	意図(対象をどうするのか)	農業理解の契機とする。
②事務事業の概要	市民が身近に農業体験出来る機会を提供するため市民農園を整備して貸付を行い、農作業を通じて農業への理解を深めてもらうと共に農家と市民の交流を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	都市化が進み、農業者と市民の共生促進が高まったことから、事業を開始した。自然に触れ合う機会を求めて、今後さらに利用希望者の増加が予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	171区画中、148区画の農園貸付を行い、農業理解の契機とした。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	農業士に相談した件数	18	16	16	人	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	2,694	2,683	金額(千円)	内容	2,757		
国支出金(千円)			2,647	市民農園用地賃借料			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	2,694	2,683			2,757		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	最大継続年数の延長(現行3年間)について検討する。					
②評価	i 市関与の妥当性	2普通	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民が野菜等の栽培を通じて自然に触れ合うとともに、農業に対する理解を深める場の提供となるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	流用・充当					
	平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	梨剪定枝堆肥化事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	6	1	3	○
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	農業振興課			
施策	331都市農業の育成	担当課室長	飯田純一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	今後も堆肥の生産を継続し、出来上がった堆肥の成分分析を行っていく。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	都市化が進行し、剪定枝の処分問題はさらに深刻となっていくことから、鎌ヶ谷市果樹剪定枝等リサイクル事業推進協議会による剪定枝の堆肥化事業に係る事業を推進するため、堆肥化に係る事業費分を負担金として交付する。
②①に基づく取組み結果	成分分析を行った結果、堆肥として良好な数値であった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	梨剪定枝	意図(対象をどうするのか)	梨剪定枝を堆肥化する。
②事務事業の概要	焼却処分が困難となってきた梨剪定枝を堆肥化して利用することで、梨剪定枝の処理問題の解決を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	H23～25年度の三か年の堆肥化実験・検証が終わり、H26年度からは、「鎌ヶ谷市果樹剪定枝等リサイクル事業推進協議会」が当該事業を引き継ぎ実施することとなった。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	梨剪定枝の堆肥化:約100t						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	堆肥生産量	279	289	304	m3	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	5,556	5,556	金額(千円)	内容	5,290		
国支出金(千円)			5,556	梨剪定枝堆肥化委託			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	5,556	5,556			5,290		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	剪定枝の収集場所・堆肥置き場の確保。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市による3年の実験・検証が終わり、平成26年度からは、鎌ヶ谷市果樹剪定枝等リサイクル事業推進協議会により、堆肥化事業を展開していくため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	梨剪定枝堆肥化実験	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	梨剪定枝を搬入し、堆肥化実験を実施	5,556	5,556	当初	5,556	5,556	H24からの繰越	
				H24⇒25繰越			現年分	
③達成状況	完了			補正				
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
		平成26年度への繰越額(単位:千円)						

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	手賀排水機場修繕事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	6	1	5	○
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	農業振興課			
施策	331都市農業の育成	担当課室長	飯田純一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	施設の延命化を図るための事業について、今後も、千葉県に確認を行っていくものとする。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	引き続き、本市の負担割合に応じて事業費の負担を行う。
②①に基づく取組み結果	施設の延命化を図るための事業について、千葉県から説明を受けた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	県営手賀沼土地改良施設	意図(対象をどうするのか)	施設の延命措置
②事務事業の概要	手賀排水機場の施設の延命化を図るための修繕及び整備を千葉県が行うことにより、流域市が流域負担割合による費用を負担する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	県営手賀沼土地改良施設のポンプが台風により損傷し、三か年にて修繕が行われる予定であったが、県予算の減額により事業が平成27年度まで延長となった。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	手賀排水機場の修繕及び整備を行った。					
②成果を表す指標	指標名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i 工事施工件数	2	2	2	件	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算	
事業費(千円)	998	2,342	金額(千円)	内容	2,475	
国支出金(千円)			2,342	基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	998	2,342	2,342		2,475	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	手賀排水機場の老朽化に伴う施設の延命措置となり、将来にわたり水害などから農地の冠水被害を軽減するため必要となっている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	手賀沼排水機場の予想される損傷を未然に防止するため、必要な対策をし、延命化を図ることで、水害を未然に防ぐため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	負担金	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	負担金を支出	2,565	2,565	当初	2,565	2,342	H24からの繰越	
				H24⇒25繰越			現年分	2,342
③達成状況	完了							
④未完了・非着手の理由	平成26年度への繰越額(単位:千円)							

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	農業委員会事務局の運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	6	1	1	
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	農業委員会事務			
施策	331都市農業の育成	担当課室長	湊 明彦			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	活動結果・検証評価を踏まえ、農業委員の更なる意識の向上及び農地法等への理解を深めると共に、農業委員会全体での意識統一を図り業務の運営向上を図る。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	農業委員会の活動計画の遂行と新たな農地法の内容、目的等を事務局及び農業委員会を含め、理解を深め運営を図る。
②①に基づく取組み結果	平成26年度までの目標を定めた活動結果・検証評価の実施		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	農地法等に基づく業務を円滑に運営するための活動	意図(対象をどうするのか)	農業委員会事務局の点検及び検証の実施及び農業委員の意識向上
②事務事業の概要	①農地法等の法律によりその権限に属された事務 ②農地等の効率的な利用促進事務、許可申請・各種証明に伴う調査並びに審査 ③現地調査・総会等			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	都市化に伴う農地隣接地の宅地化等により、営農環境が悪化し、農業経営が厳しい状況の中、農業従事者の高齢化及び担い手不足により農地の遊休化が懸念されている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	食料自給率の向上のための優良農地の確保と有効利用及び担い手の育成確保と農用地利用集積の斡旋を行い、一団化した農地への誘導を図りこのことにより遊休農地を削減した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	農業委員活動日数	546	649	600	日	活動記録簿
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	10,755	10,649	金額(千円)	内容	11,137		
国支出金(千円)							
県支出金(千円)	1,200	1,225			1,185		
市債その他(千円)	121	128			95		
一般財源(千円)	9,434	9,296			9,857		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	農地改革プランの運用を担う農業委員会事務局の点検・検証を実施する。農業委員の意識向上を狙いとする取り組みを行うとともに「ワンスリー運動」の推進を図る。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	平成21年度の農地法等の改正に伴う農業委員会の運営強化を図り、農地に関する適正な管理を実施した。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	平成26年度への繰越額(単位:千円)					